

● RNA-direct™ Realtime PCR Master Mix の使用条件 [Bio-Rad CFX96]

(1) 反応液の調製

以下に、25 μ L および20 μ L 反応時の調製例を示します。

試薬	25 μ L反応	20 μ L反応	最終濃度
滅菌水	X μ L	X μ L	
RNA-direct™ Realtime PCR Master Mix	12.5 μ L	10 μ L	1x
50mM Mn(OAc) ₂	1.25 μ L	1 μ L	2.5 mM
Forward Primer	7.5 pmol	6 pmol	0.3 μ M* ¹
Reverse Primer	7.5 pmol	6 pmol	0.3 μ M* ¹
TaqMan® Probe	5 pmol	4 pmol	0.2 μ M* ¹
Total RNA sample	<1.25 μ g (mRNAは250 ng)	<1 μ g (mRNAは200 ng)	
合計液量	25 μ L	20 μ L	

*1: プライマー濃度は、最終濃度0.2~0.6 μ Mを目安にご検討ください。

(2) RT-PCR条件設定

ステップ	温度	時間	昇降速度
逆転写反应用変性	90° C	30秒	最大
逆転写反応	61° C	20分	最大
PCR初期変性	95° C	60秒	最大
PCR 変性	95° C	15秒	最大
(45 cycles) アニーリング*	55~63° C* ²	15秒	最大
伸長	64° C	60秒	最大

(Data Collectionは伸長ステップに設定します)

*2: アニーリング温度の設定は、プライマーのTmと同じ温度からTm-5°Cの範囲に設定してください。
非特異反応が多い場合は温度を上げることで改善される場合があります。